

# 歴史館庭園探検シート

## 歴史館はこんなところ

- 生まれた日（開館日）  
昭和49年9月3日
- どんなことをしているか  
大切な歴史の資料を集め、未来にまで長くまもり伝える仕事をしています。また、茨城の歴史について研究したり、展示をしたりしています。
- どのくらいの資料が保存されているか  
紙に書かれた記録や本が約47万点  
土器やむかしの道具などが約1万点
- 歴史館の広さは  
約7万㎡



むかしのことで  
わからないことが  
あれば何でも  
聞いてね



◎写真の場所を確かめながら質問に答えましょう。



1. これは、茨城県が誕生してから100年目を記念してつくられた

です。中に入っているものは2071年

に取り出されます。

2. 右の写真は、つくば市小田にあった

石幢（せきどう）です。

筑波山の近くでとれた花崗岩（かこうがん）で作られており、

約400年前のものです。



3. 左の建物は、明治時代につくられた

小学校の建物で、西洋のふんいきが

中央の塔や玄関（げんかん）にあらわれています。





4. 左の写真は、歴史館がつくられる以前にこの場所にあった

県立 高等学校 の建物です。

明治32年から70年間、この場所でたくさんの生徒をおくりだしてきました。

5. 右の建物は、潮来市にあった農家を移してきたもので、

家住宅 といいます。



江戸時代中頃につくられた直屋（すごや）型という建物で、茨城県に多く見られた建物です。



6. 上の建物の内部にある昔の農具です。風の力でもみとゴミを分けるのに使います。この農具の名前を といいます。

7. 右の建物は、常陸大宮市の久慈川近くにあったものです。

川の水の力を利用して、こくもつを粉にしていました。

この建物の名前を といいます。



8. 左の写真は、池に育つ植物です。7月ごろにピンク色のきれいな花を咲かせて人々をたのしませています。

この植物の名前を といいます。

歴史館を探検してみてもいかがでしたか。

昔の建物や道具を近くで見ることができたと思います。

歴史の勉強は、本物を見ることが大切です。

これからも、歴史館にぜひきてくださいね。

(答えは、本館1階の総合案内前にあります。)

